

第14回辰野千壽教育賞 講評

優秀賞の渡部 敬氏のテーマは、『「色そろばん」を使った新しい計算指導～計算学習に困難を示すすべての児童生徒のために～』というものです。

渡部さんは、計算学習に困難を示す生徒に対する新たな指導法として、独自の「色そろばん」を開発し、主に特別支援学校での指導において実践を積み重ねてこられました。

渡部さんの研究は、数を直感的に把握するサビタイジングという計数能力についての理論を基盤におき、それを最大限に活用するための教具として「色そろばん」を独自に考案したものであり、10年以上にわたる教育現場での指導において、着実な成果をあげておられます。加えて、指導書等を執筆するなど「色そろばん」の普及にも務めておられます。

このように、理論的考察から独創的なアイデアを得、そこから応用・実践まで一貫して取り組んでこられたことは、教育実践研究の一つの典型とも言えるものであり、その完成度が高く評価されました。また長年の実践の中で高い有効性が確認され、さらには計算が苦手な児童生徒一般にも適用可能な指導法であることなど、実践性・応用性の面でもすぐれた研究と認められ、優秀賞に相応しいと判断されました。

以上、簡単にご紹介いたしました。この辰野千壽教育賞受賞を機会に、渡部さんが、これまで身に付けてこられた実践力を発揮され、教育現場のリーダーとして、ますますご活躍されることを願っております。

辰野千壽教育賞選考会議議長